

アクティビティ報告

富山市職員との街角クリーンアクティビティ参加 2005年7月29日(金) PM12:00~開始



L.寺腰 一

当ライオンズクラブと市民との連携のあり方を模索する最初のアクティビティとして、市職員の皆様との清掃活動が行われました。

7月29日午前12時にクラブ員26名が市庁舎南庭に集合し、2班に分かれ、1つの班は、朝日生命ビルからスタートし、富山警察署 電気ビル 松川へ向かい、もう一つの班は、富山駅 中央郵便局 第一生命ビルへと進み、燃やせるゴミと燃やせないゴミに分別しつつ回収しました。

市の中でも比較的クリーンなイメージがあるこの地区も、やはり「たばこのポイ捨て」は相変わらずです。

途中、一時雨のハプニングもありましたが、回収後、市の水上環境部長よりお礼の挨拶を受け、市民連携に向け意を強くしたアクティビティでした。

今後のアクティビティ予定 ご連絡

現在、まだ決定していません。

決定次第ご連絡しますので、よろしくお願い致します。また、6月11日(土) AM6:30からの当LC単独、第4回アクティビティ「松川ベリ清掃」は、雨天の為中止となりました。

アクティビティには、暑いですが、当LCの帽子・ジャンパーを着用して下さい。お願い致します。

会員 一口スピーチ紹介

今年度のテーマに、「より楽しく、毎回出席したくなる、例会を作り出す」を掲げているが、その一環で『会員一口スピーチ』を例会で実施している。毎回会員2名がスピーチする。個人差は有るが5分から15分といった持ち時間。内容はライオンズ関係に限らず、趣味、事業の紹介・営業などなど……。なんでも構わない(例外はあるが)、TV番組の「笑っていいとも」形式で、スピーチした会員が次のスピーチする会員を指名できるシステムとなっている。

現在、2回の例会で実施しているが、有意義である(昼食後の眠気がなくなり……。これは筆者だけで、皆様は無いことですが)、やむを得ず例会を欠席される方にスピーチ内容を紹介!ということになりました。今回は7月に発表された会員のスピーチ内容をご紹介します。

L.姫野 公英



苗字や地名から見えて来る 歴史のロマンについて

苗字の大部分は地名に由来しており、日本全国にはその苗字を聞けば、その人の出身地がわかるといった珍しい苗字が結構多い。

例えば、東北地方には、奥州藤原氏の影響か、佐藤、工藤、須藤といった藤の付く苗字が多く、星、星野、寒河江といった名前も特徴的である。

静岡では、望月、香川では越智、鳥取、島根では、足立、安達が多い。また、鹿児島では、三田園、榎園、満園、諏訪園と云った園の付く苗字が多く、上水流、下水流、上喜入、下喜入と云った三文字の苗字も多い。

また、これら人の苗字の元となった各地の地名の由来をみるとその土地の歴史を彷彿とするものが多い。

身近な例で言うと東田地方、西田地方と云うのは、江戸に南北の奉行所があったように、富山の東西に田地のことを担当する役所つまり農政局があったと理解できる。

この様に我々のまわりの地名は無形文化財とも言うべき貴重なものであり、その、発音の仕方も含めて、正確に後世に残すべき物と考えます。

L.中島 康雄



富山第一ホテル いろいろな企画について

現在、富山第一ホテルは、様々な工夫をし多数の集客に努めています。例えば、ピアガーデンにおいては、季節の風物詩として、ミニスカートを身に纏ったバドガールを配置したり、結婚式においても、いろんなアイデアを出して、お客様に楽しんで頂けるようにしています。

そして、結婚式がホテル開設以来5,000組に達成いたしました。1組平均両家合わせて40人の招待客がありますので、なんと20万のお客様が、ご親戚や知り合いとなり、また、招待客一人一人に5名様のご親戚が大体ありますので、100万人すなわち、富山県の人口と同じくらいもしくは、富山県民全員がご親戚や知り合いとなります。

その中で、結婚式のありようも少し様変わりしてきています。かつては、仲人は、ご二人の両袖に陣取り、上段にいましたが、現在は、お客様の席の上席の方に座ることが、多いようであります。しかし、席や料理や、演出は変わっても、ご二人の幸せを願う気持ちは、今も昔も変わらないように思います。私ども、第一ホテル従業員一同は、これからも、お客様に真心を込めておもてなしをいたしますので、今後とも宜しくお願いいたします。